

「子どもの安全」巡回パトロール

なぜこの事業を行っているのですか？

全国で子どもたちが被害に遭う痛ましい事件が後を絶ちません。区内においても、不審者から声をかけられる事例などが発生しています。

そこで区では、地域、行政、警察がスクラムを組んで子どもの安全を守ろうと、「台東区子どもの安全ABCプラン」（☞解説）を作りました。

「子どもの安全」巡回パトロールは、このプランによる行動の1つとして、子どもたちが安心して学校や地域で生活を送ることができるように、また、地域の防犯のために始めた事業です。

どのようなことを行っていますか？

学校や保育園、児童館、公園など、子どもたちが集まる場所を中心に、4台の車（青色回転灯付き）で、365日間、午前7時から午後7時までパトロールを実施しています。



「子どもの安全」巡回パトロールカー



警察官との合同パトロール

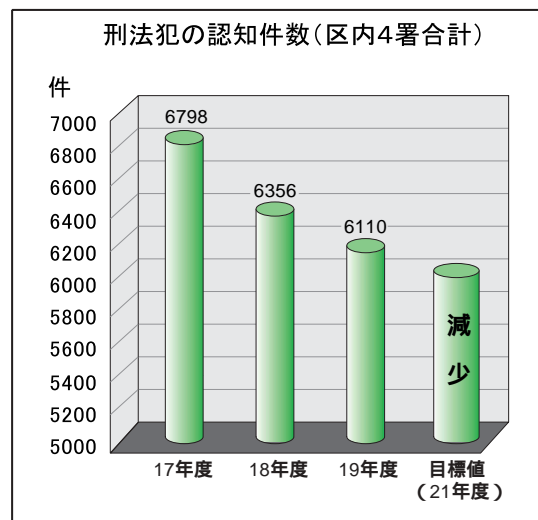
パトロールをしながら、
施設への立ち寄り警戒
犯罪、事故、不審者を発見した場合
の110番・119番通報
子どもたちや区民に防犯意識を喚起
する呼びかけ
などを行っています。

事業の進み具合はどうか？

パトロールの開始から3年の間に、公園内で大声をあげる不審者から子どもを引き離したり、パトロールカーを見た窃盗犯が、盗んだ財布を捨てて逃げるなど、多くの事例がありました。

また、パトロールの存在も、地域に知られるようになってきました。

区内における犯罪の発生件数も、年々減少しており、その成果は着実に表れています。



「20年度事務事業評価」より

今後はどのように取り組んでいくのですか？

区内における犯罪の発生件数は年々減っていますが、犯罪が全くなくなるわけではありません。

平成20年7月から3ヶ月間、夜間パトロールを試行し、公園などに集まる中高生に帰宅を促したり、地域のお祭りなどで防犯に対する啓発を行いました。

今後は、地域や警察とさらに連携を深めるとともに、パトロール時間延長の検討を進めるなど、子どもの安全対策に全力で取り組んでいきます。

この事業に関するお問合せは

危機管理室生活安全推進課

03 - 5246 - 1044

【解説】

子どもの安全ABCプラン

平成18年2月に開催した「子どもの安全推進会議」で策定された、子どもを守る行動計画です。Aは「アクション」（学校や家庭、ボランティアなど地域が行動すること）、Bは「バリアー」（不審者から子どもの安全を守るための防壁を築くこと）、Cは「コラボレーション」（地域、行政、警察が一緒になって行動すること）を意味しています。